

# ♪ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

7月に宇久井半島で見られるなかまたち！



☆「アオイ科 ハマボウ」☆  
暖地の海岸や河口に咲く落葉低木で防  
潮林になる。花は一日でしぼむ。多く  
の県で絶滅危惧種に指定されている。



「ハイノキ科 ミミズバイ」  
常緑性の小高木。花は柄が短く葉  
脇に集まる。開花から年をこえて  
次の年の秋に果実は熟す。



☆「ユリ科 オニユリ」☆  
古い時代に渡来したと言われる。種子  
は作らず葉の基部にムカゴを作る。日  
本でムカゴをつけるユリは本種のみ



「イラクサ科 ヤブマオ」  
山野に普通に生える多年草。円形の  
葉が特徴的。かつては茎の植物繊維  
から糸を紡いで布を織っていたそう。



「アヤメ科 ヒメヒオウギズイセン」  
南アフリカ原産で、明治の中頃、観  
賞用として導入された。繁殖力も旺  
盛で、全世界で野生化している。



☆「ヒガンバナ科 ハマオモト」☆  
一般にはハマユウと呼ばれている。  
暖地の海岸沿いに生える常緑多年草  
日没から強い芳香を放つ。



「ユリ科 ハマカンゾウ」  
海岸近くの草原や砂浜に生える多  
年草。花はノカンゾウに似ている  
が、常緑のため冬でも葉が残る。



「ヒルガオ科 ガンバイヒルガオ」  
熱帯から亜熱帯の海岸に分布する。葉  
が軍配に似ていることから名付けられ  
た。本州で花を見られるのは珍しい。



「クマツヅラ科 ハマゴウ」  
海岸や湖岸などの砂地に生える落  
葉小低木。丈夫で根が砂から飛び  
だしても枯れない。芳香を放つ。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くこともできますよ♪  
地…地玉の浜で観察することができます。

宇久井ビジターセンターでは「昆虫企画展～むしのたべもの～」を開催しています。  
皆様のお越しをお待ちしております(^o^)/

※ごみは持ち帰りましょう！  
※畑に無断で入らないようにしましょう！  
※植物や生き物を大切にしましょう！

2022年7月後半号  
宇久井ビジターセンター



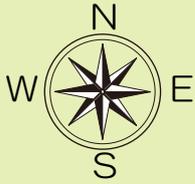
# 吉野熊野国立公園 宇久井半島

夏版

フェリーターミナル方面  
通行できません

## ＜散策時間の目安＞

- ビジターセンター～地玉の浜コース (片道約15分)  
① → ② → ④ → ⑤ 約700m
- ビジターセンター～駒ヶ崎灯台コース (片道約25分)  
① → ② → ③ 約900m
- ビジターセンター周回コース (一周約40分)  
① → ② → ④ → ⑥ → ① 約1200m
- ビジターセンター～千尋の浜コース (片道約20分)  
① → ⑦ → ⑧ 約1200m
- ビジターセンター～外の取コース (片道約20分)  
① → ⑦ → ⑨ 約1200m



至 R42

## 自然観察の森

## 上野展望台

防空監視哨

マルバウツギ  
オガタマノキ  
蛭子神社跡地

ヤマモモ  
ヒサカキ  
モチノキ  
ヤブツバキ  
ハゼノキ  
(メジロがよく食べに来ます)

## 千尋の浜 (上地の浜)

メジロ  
キジバト  
ヒヨドリ  
ウグイス

南紀勝浦  
休暇村

外の取

至休暇村

## 松尾展望広場

木のすき間から  
海が見えます。



## 赤灯台



タイミンタチバナ

カラスザンショウ

ヒサカキ

アオノクマタケラン

クスノキ

スタジイ

ヤブニッケイ

カンコノキ

水壺の跡

ネズミモチ

ヒメユズリハ

モチノキ

モチノキ

モチツツジ

灯台まであと4分



木のすき間から浜が見えます。

## 地玉(じこく)の浜

ハマオモト  
ハマナデシコ  
ハマゴウ  
ハマナタマメ  
トベラ



## 凡例

- 駐車場
- あずまや
- 案内板
- 展望地
- 水道
- お手洗い
- 自動販売機
- 車道
- 舗装路
- 林内の遊歩道
- 階段

## 駒ヶ崎灯台